

一般質問

2月定例会では、29人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

①観光人材養成科 ②ブドウ・果実酒研究



西村 弥子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①食の学校の長期的ビジョンを踏まえ、養成科1期生等の声を聞きながら、内容と対応の改善を図るべきでは②醸造用ブドウ試験研究、固有品種開発を。また県産梨100%の瓶内二次発酵スパークリング酒を特産品指定し、研究を進めてはどうか。

答 ①反省点を踏まえ育てることが、長い目で食を絡めた教育・人材育成に繋がる。ホスピタリティあふれる接遇が地域を育てる。県職員にも徹底し改善したい②ワイン・果実酒のこと、速やかにさせていただきます。

①教員の残業削減 ②性暴力の根絶 ③県民運動



尾崎 薫 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 ①特別な事情の場合、教員の残業は月上限100時間であるが、長期にならないようにすべき②米子児相指導員の女子学生への性暴力事件。被害者の立ち直りのサポートが最重要では③「鳥取に帰ってきて」運動は知事がトップに立ち、親と一緒に頑張る意気込みを見せてほしい。

答 ①(教育長) 重大事故・いじめの発生など解決に長い期間を要する場合はチームで対応する②被害者にお詫びし、万全な配慮をし、第三者機関で検証する③1丁目1番地の施策として取り組む。

新型コロナウイルス対策 美術館建設で地元貢献



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

問 ①一斉休校では、感染リスクを考慮し、放課後児童クラブだけでなく小学校でも児童を受け入れることが必要だ。休業補償は個人事業主も対象にすべき②美術館の契約にあたって、地元経済に貢献してもらいたい。

答 ①休業補償は知事会として国に要請した。(教育長) 小学校でも児童を受け入れるよう、各市町村の教育長に伝えた②20年間で44億円を地元企業に発注する約束だ。(教育長) その確実な履行を担保するため、県が業務監視する。

新型コロナウイルス・ 施設管理・点字ブロック



坂野 経三郎 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 県民はウイルスに不安。知事が先頭に立った情報発信を。

答 緊急記者会見を検討。県庁フル動員で危機管理に当たる。

問 2033年の島根県との国体開催に向けた、施設整備の在り方は、ファシリティマネジメント(*)の観点から整備をするべき。

答 将来コストを含めた設計等、十分検討を進める。

問 警告ブロックは、費用対効果を見極めながら、ロービジョン者にも健常者にも有益なオレンジ色にして全国へ発信を。

答 調査してカラー設置する。

鳥取県を豊かにする 未来に向けた取組みとは



山口 雅志 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①SDGs ②鳥取港整備 ③運輸費低減 ④事前防災

答 ①総合戦略と結びつけ将来ビジョンや環境問題に絡め県発展に繋げ豊かさを創出②自動車道開通に合わせ岡山県北、但馬地方を含めた鳥取港の機能価値向上とコンテナ取扱等の商業化挑戦を支援③道の駅を活用した貨客混載運輸費低減事業は農業特産品振興に大きく役立つ。新年度地域商社育成事業等により応援④事前防災は減災効果が大きく、農業施設対策を含め地域負担条件緩和を粘り強く国に働きかける。

①高齢者の薬剤過剰投与 ②個人賠償責任保険



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①高齢者の薬剤過剰投与へのリスク管理のため、薬剤一元管理を。また、薬やお薬手帳の啓発も必要だ。教育現場は生徒への正しい薬の知識を②認知症当事者による事件・事故へ備え、個人賠償責任保険制度を国へ働きかけ、県も積極的検討を。

答 ①薬剤師会・医師会とも協力し、重複服用を軽減できるよう役割を果たし、PRも県政広報等でやりたい(教育長) 薬剤師会等と連携し尽力する②県として安心して暮らせる社会づくりに向け、国に制度設計を呼びかけたい。

* ファシリティマネジメント：最小限のコストで最大限の効果を生む施設の経営管理手法。

一般質問

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

鳥取県議会

検索



キャッシュレス化の光と影



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 国はキャッシュレスを押し進めている。鳥取県において現状はどうか？金融・金利の仕組みについて学校でどのように教えているか？

答 境港の商店街では一斉に対応し、5,000店舗を超え対人口比全国第5位となってきた。今後PRや支援活動を行っていききたい。キャッシュレス化社会がシステムの前進・変革・発展につながる。(教育長) 学校での教育は新学習指導要領で小学生から高校生まで賢い消費活動ができるよう力を尽くしていく。

気候非常事態宣言して環境問題を提案すべき



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 会派民主

問 脱炭素社会に向け、CO2の削減目標や省エネ100パーセントを目指す企業の支援策が提案されているが、気候非常事態宣言を表明した上で、県民の皆さんに脱炭素問題の取り組みを示した方が、理解が得られるのではないか。

答 気候がおかしくなっていることは、県民の共通認識であると思う。気候非常事態宣言の提案があったので、議会での議論を拝聴したうえで、タイミングを捉え最終的に判断をしたい。

自治体立病院について



福間 裕隆 議員

選挙区 西伯郡
会派 会派民主

問 ①再編・統合424公立病院名公表問題の現状について問う
②2020年3月と9月までに再編・統合の結論を出すようにという厚生労働省方針は撤回されたのか。

答 ①一律の統合・再編を目指すことはないとは国は明言。一つ一つの個別の事情を医療圏域の中で考え、地域医療構想をまとめる方向に収れんしつつある
②3月の中間取りまとめについては、事実上撤回の通知があった。9月の期限も見直しが示唆されている。

インターネット上の差別情報について



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 部落探訪と題して、県内の被差別部落5か所を鳥取ループ・示現舎が訪れ、記事や写真が掲載されている。ネット上の差別、人権侵害について、県民の立場を守る立場である知事、教育長に所見を伺う。

答 部落差別は解消されなければならない。ネット上に見受けられる事象は、“心の病”のような状況だといえる。(教育長) 確信的に人権侵害を行うことはネット上の特徴。今後も人権意識を高め、メディアリテラシー(※2)にも取り組みたい。

観光対策について境漁港と境港湾の将来



安田 由毅 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①新型コロナ観光対策②境漁港に共用型冷凍冷蔵施設を③水産物直売センターの観光施設併設型への再整備が必要④境港湾の将来活用として病院船の調査研究をすべき。

答 ①国の対策以外も県独自に追加対策②冷凍冷蔵施設は戦略的に重要。地元から声が上がれば取り組む③施設の機能強化、衛生化等、県としても必要十分な支援を行い、構想を援助する④国の動きを追跡調査する。建造が現実化するのであれば境港の存在を関係者に働き掛ける。

①地域交通体系の構築 ②通学路について



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①想定される地域交通体系鳥取モデルとは？②高校生は夜遅い時間に帰宅する生徒も多い。防犯灯の設置、サイクルアンドバスライド(※1)駐輪場の整備が必要では？

答 ①未来型のシステムを想定。各地、さまざまなアイデアでやっていただきたい。長く継続できるように、県独自の制度をスタートさせたい②県道において、必要があれば照明を施す。駐輪場については必要な措置もとれるので、具体的な話に応じて相談をさせていただきたい。

※1 サイクルアンドバスライド：出発地点から自転車で最寄のバス停までいき、バスに乗り換えて目的地に向かうこと。

※2 メディアリテラシー：新聞やテレビ、インターネットなどの情報を取捨選択し、活用する能力。

一般質問

【答弁者説明】 答弁者は、記載のないものは知事(各部長の答弁も含む)。教育長は知事の部局ではないため、別に表記しています。

①SDGsの取り組み ②情報通信基盤の整備等



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①SDGsの取り組みについて県民の皆様にも広くご理解をいただくためにも、フォーラム等を開催してはどうか②情報通信基盤の更新時期を迎える中で、県としてどのように支援していくのか。

答 ①SDGs推進のためのスタートアップを図る意味でも、商工団体等とパートナーを組んだ上でフォーラムを開くことなど検討したい②新年度予算の中で、市町村とタイアップしながら高速通信網の基盤整備を県として応援する。

東郷湖羽合臨海公園の役割と可能性について



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

問 広域都市公園である東郷湖羽合臨海公園は長寿化ではなく、県中部の拠点施設としての役割を今後考える必要があると思うがどうか？

答 東郷湖羽合臨海公園に住民が期待する役割、地域とのパートナーシップの組み方、様々な提案に耳を傾けて、時代とともに公園を進化させることが大切。Park-PFI(※2)等の可能性についても、指定管理制度との調和を図らなければならないが、今後念頭に置いていきたい。

地域共生社会実現に向けた取り組みについて



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 あいサポート運動の根底にある全ての人笑顔で暮らせる共生社会の実現へどのように取り組んでいくのか。

答 共に生きていくという社会像を鳥取らしく創っていく。障がい者を支えようというあいサポートの精神はあらゆる世代の貧困対策にも通じるものであり、現実を直視しながら地域の中で支え合い、行政もアウトリーチ(※1)的支援を進めていく。困窮の中には障がいと関連したケースも少なからずあり、ぜひ対策を強化していきたい。

① 観光の環境整備を ② 民藝振興 ③ 星取県



常田 賢二 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①新型コロナウイルス終息後の観光需要の回復は。フリーWi-Fiの表示を再検証しては②民藝振興に対して県として積極的にかかわるべきでは③官民一体の星取県プロジェクトチームを結成しては。

答 ①反転攻勢ののろしを上げV字回復を果たしたい。早速点検しWi-Fiデザイン変更も検討したい②鳥取市と協議していただき一定の方向性ができれば喜んで応援する③星取県の戦略会議に実働部隊として幅広く関わっていただき、パートナー会議のような形で県民運動に展開したい。

ナショナルサイクルルート(※3)認定に向けて



松田 正 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①3年後のナショナルサイクルルート認定に向け積極的に取り組むべきではないか②サイクルツーリズムを所管する部署を統括する必要があるのではないか。

答 ①要件は厳しいが、鳥取の壮大な自然の中で楽しむスポーツのメッカとして、ナショナルサイクルルートの指定を目指してまいりたい②新年度は記念すべき自転車道全県開通の年。自転車振興を進めていくためのワーキンググループを再整備したい。

西部総合事務所(警察跡地)庁舎の統合分散



山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

問 県と米子市で庁舎(建築部門)の共同設置が計画され、予算計上されている。分散すると不便で地域交通のこと等を考え連携する必要があるのでは？

答 今までも米子市は市役所を分けておられた。市で考えていただけたらと思う。

問 現米子市役所本庁舎、第2庁舎等分かれているが、同じバス路線で近接している。総合事務所だと部署を回らないといけない。住民理解、議会同意が必要では？

答 庁舎問題は大変重要。議会・県民の意見を仰ぎ進める。

※1 アウトリーチ：援助が必要な人に、積極的に支援すること。※2 Park-PFI：公園管理者以外の事業者が公園を設置管理できる制度。※3 ナショナルサイクルルート：国が指定する一定水準を満たしたサイクリングルート。

一般質問

【県議会を傍聴しませんか】

本会議、委員会などの会議はどなたでも傍聴できます。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

働き方改革と幼保小連携について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 幼保小連携は非常に重要。保育園や幼稚園からは、「こういう子でしたよ」という要録を小学校に上げる。それについて2～3年前までは、小学校1年生の担任もしくは学年主任の先生のどちらかが来て、「この子が来るのですね」という話があった。今、訪問自体が行われていないが、必要がないのか答弁をお願いします。

答 (教育長) 改めて学校現場にも指導してまいりたい。

①新型コロナ ②産後ケア ③教室断熱 ④プレゼンカ



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①犠牲者を出さないため積極PCR検査を②産後ケア施設を増やすため、人件費補填制度の新設を国に要望を③業者に頼らず教室断熱化に取り組んだ『津山モデル』を参考に波及を④プレゼンカ競う高校県大会を。

答 ①思いは一緒。省令基準だけでは割り切れない。医師が疑いを持てば検査に回している
②実態把握しパイオニアとして国に要請すべきことは要請する。

(教育長) ③安く整備でき環境教育にも役立つので研究する
④色々と取り組みを検討する。

夜間中学・フリースクールについて



澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

問 教育委員会では夜間中学の設置について検討している。総合教育会議を設置する知事として鳥取県での夜間中学の必要性についてどう考えるのか。また高校生通学費助成事業が始まるがフリースクールへ通学する高校生へも対象を広げるべきと考えるが伺う。

答 夜間中学で学ぶ機会は大変重要であり、教育委員会は県民の負託にこたえる必要がある。またフリースクールに通学する高校生も通学費助成の対象としていく。

就職氷河期世代への包括的支援体制の構築



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 就職氷河期世代への支援においては、市町村が重要な役割を果たす。国では市町村による「断らない相談支援体制」など、新たな相談事業の創設が検討されている。国の財源を活用し、包括的な支援体制の構築に取り組むべきと考えるが知事に伺う。

答 県立ハローワーク、地域のひきこもり支援センターのような鳥取県独自の仕組へつなげられるよう、市町村にも事業スキーム、また、関連事業なども紹介し、可能であれば組織づくりについても働きかけていきたい。

①第2期地方創生 ②廃棄物行政の課題



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①PPP/PFI(※2)について、引き続き第2期地方創生のエンジンとして推進すべき②産廃最終処分場の廃掃法の手続きは速やかに進めるべき。不安の声に寄り添う意味でも地下水調査の結果や解析は出来るだけ早く評価すべき。

答 ①鳥取空港、水力発電、美術館と進んだ。第2期でも西部総合事務所や米子市民体育館等の統合、新築にトライする②一般法制の中で誠実に適正にスケジュールを管理しながら進めて行く。早く研究成果を出すことは先生方のご理解をいただくと思う。

農業担い手育成の取り組み支援について



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

問 畜産は専門性と継続性が重要となる分野であり、エキスパートの育成が急がれる。今後、他県で和牛改良が進むこととなれば、遅れをとってしまう。幅広いリカレント教育(※1)を充実させることと合わせ、高校生から専門性を極めていくエキスパートの養成が必要だ。

答 県独自の「スーパー農林水産業士」のやり方などを基本とし、畜産農家を育てる体制も点検する。(教育長) 地域産業を発展させることのできる専門人材の育成に努めていく。

※1 リカレント教育：社会人の学び直し。

※2 PPP/PFI：官民連携とその手法のひとつを指し、民間事業者の資金やノウハウを活用して公共施設の整備・運営を行うこと。

一般質問

会派
正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
【会派民主】会派民主
【公明党】公明党鳥取県議会議員団

①森林環境譲与税使途 ②美術館建設について



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 ①森林環境譲与税の使途について②市町村の支援を①都市と連携して鳥取県内の森林整備を。関係人口増加にも寄与③防災対策として道沿いの立木伐採や裏山の危険な樹木伐採を②美術館建設に当たり、パークアンドライド式定額ループバスで交通利便の確保を。

答 ①②森林管理システム推進センターを東中西に立ち上げ、市町村の事業促進を図る③市町村に対して、今後も支援する④税活用を推進したい⑤交通協議会の議論に供したい。

①農地の保全 ②県立病院のあり方



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①農地保全には水路農道等の共同作業が多く、維持管理は難しくなるが知事の考えは②再編統合対象の県内4病院以外の県内公立病院も経営は大変だと思うが知事の考えは。

答 ①多面的機能支払、中山間地直接支払、農地の基盤整備等種々ある。職員にも地域で果たす役割を呼びかけ、事務的につなげたり組織化を検討する②病院改革プランで単年度の黒字経営、累積赤字圧縮を掲げるが、各公立病院は改善していない。各市町村長を含め踏み込んで議論する。

①新型コロナ対策 ②児童相談所性的虐待問題



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①新型コロナ②賃金補償・雇用調整助成金上乗せ③消費税減税④徴税猶予⑤県追加予算⑥発熱で中断する在宅障害者・高齢者の支援継続⑦国保の短期証郵送と傷病手当創設⑧米子児童相談所夜間指導員による性的虐待。夜間は正職員・複数体制に。保護者説明、子どもケアの改善。

答 ①②全国知事会で対策求める③税財政全般の措置求める④相談を⑤国補正によってあり得る⑥県が利用調整の市町村に要請。対応を検討⑦職員配置必要。保護者に話を伺い誠実に対応する。

6月定例会の日程案

期日	日程
6月9日(火)	本会議 (開会・提案理由説明)
10日(水)	常任委員会
11日(木)	本会議(代表質問)
15日(月)	本会議 (一般質問・質疑)
16日(火)	
18日(木)	
19日(金)	
23日(火)	常任委員会
24日(水)	
26日(金)	特別委員会
29日(月)	特別委員会
30日(火)	本会議(採決・閉会)

※日程は変更の可能性がります。

県内農業の現状と 今後の生産振興策は



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ①県産米の生産振興策と差別化を図った販売戦略を伺う②ラッキョウの根葉切り機開発の進捗は③地域に合った農業施策を展開し、特に山間地の農地を大区画へ再整備を。

答 ①コシヒカリから脱し付加価値を付けた特別栽培のきぬむすめや、天体をモチーフに星空舞のイメージを全国発信する②新年度に試作機を作り研究段階は完了させ、将来実用化できるのでは③単なる技術革新でなく、様々な事業を投入し農業振興、地域活性化へ。

本県の水産業の課題 について



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①イワシは幅広い業者を動かす。地域経済が落ち込む中、漁獲制限枠の見直しを求めるべきでは②県ホームページから直接商品にリンクできる仕組みにできないか③共同の冷蔵施設として旧DBSターミナルを利用できないか。

答 ①関係者の声を聞きながら国に要望する②ポータルサイトを作って海や魚の魅力を発信し、そこにリンクを貼ることで販売が可能かもしれない③関係者の意向がまとまれば、冷蔵施設に関しては、国事業の橋渡しなどを支援する。